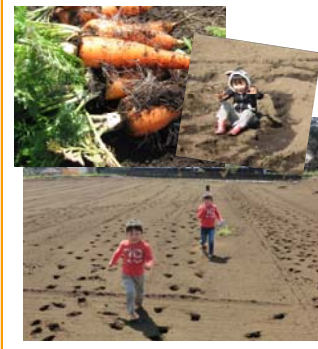


晴耕雨読 26

Vol. 26 2012/5/1
 ■発行：株式会社 建設プロジェクトセンター
 建設コンサルタント・補償コンサルタント・測量業登録
 〒869-1234 熊本県菊池郡大津町引水215-1（技術研究所）
 本社：熊本市/八代支店/合志営業所
 TEL:096-293-4400/FAX:096-293-4885
 E-mail: kenpro@muc.biglobe.ne.jp
 ■責任者：中村 秀樹

Rural environment 農村環境



- ◆夏までの平輪農園の予定
- 4月29日 野菜の植付け
 - 5月27日 茶摘み
 - 6月17日 田植え
 - 7月22日 大豆種まき、夏野菜収穫
 - 8月5日 大豆の中すき



◆上田会長と奥さんの2ショット

3月までの年度末もひと段落し、先日全社員で社外の一斉清掃と農園の苗植えを行いました。朝はちょっと肌寒い天気でしたが日中は半袖でも汗ばむほどの夏日となりました。天気にも恵まれ建プロの社外は文化的景観をイメージ(下の写真)した庭づくりで、見違えるほどキレイになりました。B/T



◆農園で走り回る子供たち イラスト/原賀隆一◎

気分新たに平成24年度の平輪農園が始まりました。今年も25家族でキュウリ、トマト、キャベツ、じゃがいも、玉ねぎ等たくさんの野菜の植付け、収穫するのが楽しみです。特に、緑大豆の味噌づくりに力を入れて頑張ります!! 子供からお年寄りまで楽しく集える農園では会員募集中です(また建プロ農園も復活です(*^_^*)O/I

Civil Engineering 土木文化

▶ RCCM(照査技術者)に思う

昨年、建設コンサルタント業務に係る管理・照査の責任者となる「シビルコンサルティングマネージャ(RCCM)」の資格取得試験に初めてチャレンジし合格しました。改めて土木技術者としての役割と品質管理のあり方を再認識することができました。特に、土木技術とは国益に必要なもので、常日頃より幅広い分野の技術研磨に努め、技術向上を図ることが重要であると強く感じました。

また、昨年の東北大地震からの復興に伴う社会資本整備において、調査・設計業務等の上流側を担う建設コンサルタントの責任は大きく、さらなる成果品の品質確保、技術力確保が要求されるため、柔軟な発想で独自の提案等を積極的に行いたいと考えます。RCCMは技術士不足やミスの多発等の社会背景から平成3年に創設された民間の資格。今では土木の調査・計画・設計に不可欠な資格になりました。M/T



文化財修後の調査・設計補修工事監理 ～古閑原眼鏡橋修復～



熊本県といえば、通潤橋や霊台橋等に代表される石橋が数多く見られ、現役の道路橋もあれば人道橋もあります。石橋は築造後100年以上経過したものが多く、文化的価値が非常に高い一方で経年劣化等による損傷が顕著です。

今回、文化財である石橋及び護岸工の復旧設計から積算及び施工監理に係りました。特に、空石積の安定性を確保しつつ、仕上がり現状の石材は現状維持に努めました。施工前と比べると石橋及び護岸が築造時と遜色なくできあがったため、今後地域のシンボルとなるのではないのでしょうか。皆さんの身近にも隠れた地域の宝があるかもしれませんね。N/K

▶ 自然斜面の地山評価の重要性に思う

熊本県南部の山間部を通る一般県道の道路防災対策と、車道幅員の局所的拡幅を含めた道路実施設計に係りました。当初の設計は落石対策であったが、防災カルテに着目し現地調査を実施した結果、不安定斜面抑制対策が必要と判断、設計変更の提案協議により法面抑制工として業務遂行しました。

まず、専門家に同行願い地質概査を実施し、土質分類、土質数の特定。次の法面対策の検討では、施工性と経済性に優れる現場打ち枠工+鉄筋挿入工を採用。また、法面の肩部には小転石と排水を考慮し枠工を嵩上げ併用した法面排水工を設置。法尻部には類似例調査により維持管理と車両走行性に配慮した有効高50cmの腰止擁壁工を設置することで、法面の安定と道路機能の保持の工夫等を行ない完工に至りました。下の写真は、地質専門家の助言を受けるため現地調査を実施した時の写真です。Y/T



完成「白川源流湧水地」の川づくり ～伝統工法の採用～

白川源流湧水地と呼ばれる所には、落差7mの砂防ダムの影響で川底が深く掘られたため写真①のような根回はブロックが施されていました。しかし、竹やビニールなどが詰まり、環境が著しく低下。それを補うため石造りの河川工事写真②が実施され今年3月完成。(写真③)やっぱり石造りづくりは心が癒される。N/H



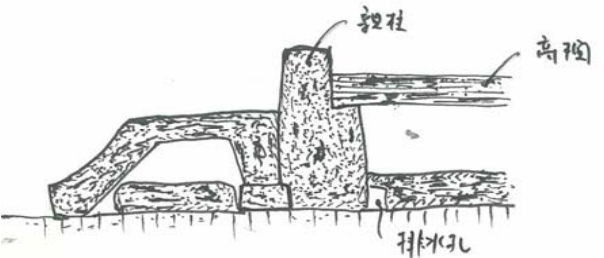
①施工前 ②施工中 ③施工後

■後記：熊本県内には、写真や絵に残したくなる風景や美味しい・懐かしい郷土料理等があります。まだまだ、気をつけて見ると素晴らしい場所や歴史の重みを感じる空間や文化などが沢山残されています。今後も皆さんへ地域の良さを紹介していきたいと考えています。

石橋の親柱に思う

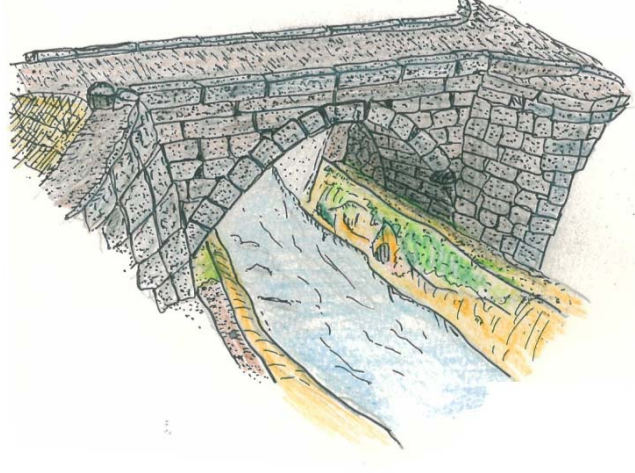


- 孟子曰 道は近くに在り 而るに諸(人)を遠きに求む
- 事は易きに在り 而るに之(人)を難きに求む
- 人々其の親を親とし 其の長を長とせば 而ち天下平らなり



◆永山眼鏡橋の親柱(菊池市)
 石橋の路面4ヶ所に親柱と呼ばれる少し大きく、高い石造りの施設があります。起源は幾つかあり、1つは仏教における宝珠とも言われています。日本では平城京の二条大橋が古く、さらに中国漢時代の敦煌の壁画にそれらしいものが見られます。橋の擬宝珠は、その由来が刻まれている場合もあり、日本でも名前の由来を伝えるものの役割等に使われたと考えられます。N/H

青葉が清々しい季節となりました。皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。今年の冬はいつもになく寒い毎日でした。還暦を迎えた者にとっては腰が冷え、ズボン下を常備しないと外に出れない年齢になりました。でも、待ちに待った春が訪れ、県内の見事な桜や桃・藤等の花々を見ると、この熊本に生まれた幸せを感じます。



Human Architecture 身近な環境と暮らし

木の人形??

▶ じえんじえんの木とはどんな木?

例年になく寒さと長雨の混じる3月でしたが4月には、春風と伴に春のスイッチが入りました。今回は、吉無田高原方面で出会った春をお届けします。それはミツマタです。ジンチョウゲ科で文字通り枝先が三つの又(三つ又)に芳香の良い花が咲きます。和紙の原料であることは小学校の社会で習ったような記憶があります。ジンチョウゲも枝先三又で似たような芳香花が付きますが和紙材には不適だったようです。



写真は、喫茶店外庭の草原に咲いていたもので、茶花に通なお客のおじさんが「子供のころから『じえんじえんの木』と呼びよった。」と教えて頂きました。じえんじえんの木=ゼニになる木=造幣局のお札になる木...ということです。お札も良く観ると光沢があり、きめ細かく黄身がなっています。ミツマタは、繊維が長くしわになりにくく、破れにくい高級な和紙材であるため、紙幣や証紙など重要な書類に使われてきたようです。T/A



◆御船町 標高500mの土地で咲いたミツマタ

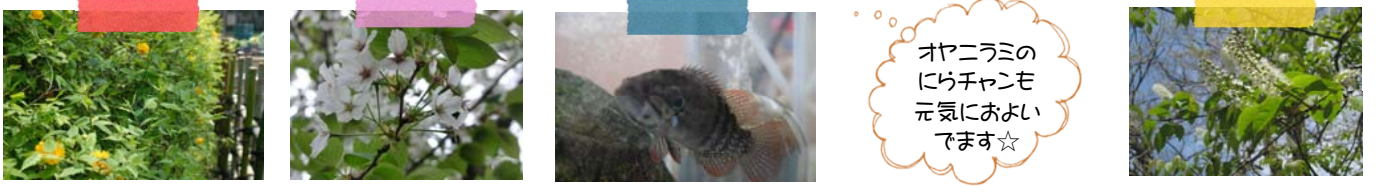
▶ 廃校跡に咲いた桜(小国町)

— 阿蘇郡小国町村立杉室小学校跡地 —

小国町から菊池市へ抜ける途中、思わず立ち止った小国町立杉室小学校跡地(右の写真参照)。いつ頃廃校となったかは分かりませんが、校門から眺める校舎跡は寂しさが漂います。ただ桜の花だけが鮮やかに来訪者を歓迎しているかのようでした。廃校跡地の利活用に知恵を絞れば雇用対策や学習機会の場になるのではないかと思います。H/N



左の写真は今から30年前、高速道路建設で発生した残土を処理した土捨て場跡地に作られた人形です。人形は住民の手で作られたものですが、工事に係った者の一人として公共工事に参加して良かったと素直に思いました。H/N



オヤニラミの
にらちゃんも
元気におよ
びます☆